

安倍総理

3年ほど前のことだったと思うのだが、政権党が民主党になってから
るくなことがない。では、誰が総理をするのがいいか、という話にな
ったとき、小生は「安倍さんに期待している」と言った。するとそ
の場の雰囲気はしらけた感じで、早く言えば「洩もひっかけない」と
いうか「鼻の先でせせら嗤われ」て無視されてしまった。安倍さんを
推奨した理由にはいくつかあったのだが、ひとつは前政権時必要な法
案をいくつか通していることが最大のものである。「お友達内閣」な
どと揶揄されたくらいだから、閣僚に選ばれたメンバーもまあ、よく
て二流以下。・・・病気を患っていたにしても1年で政権を投げ出し
たことが、不人気の理由。さらに就任演説でも横文字の羅列が不評
だった。だから、次回総理になったら前回で学習しているだろうから
もっとまともな内閣になるだろうという期待も込めていた。

亡き三宅久之さんが、安倍さんが「たかじんのそこまで言って委員
会」に出演したとき、安倍さんの去り際に「やがて国家のために粉骨
碎身されるときが来るだろうから、御身大切に・・・」という趣旨の
ことを語った言葉が印象に残っている。

それから3年。安倍さんが再び総理になった。安倍さんにしてもここ
まで早く復活するとは思ってもいなかっただろう。まだわずか3ヶ月
であるが、すでに株価の上昇、円高の是正、など目に見える変化が著
しい。今度は自民党の挙党一致内閣である。重要な所は、それぞれの
領袖ぞろいである。（そうでない、不適格かもしれない者もまじるの
は仕方がない。） 東北大震災の被災者たちが口々に言う、復興が民
主党政権のときの100倍は早い、と。円安と円高、それぞれ利益を蒙
る業界があるだろうが、日銀総裁を初め、政府もなんらなす術がな
かったところである。 T P P 参加問題についても、賛否両論あ
る。大反対の農協は大騒ぎするが、農業の荒廃については、ある意味
「諸悪の根元は、農水省と農協にあり」ともいえる。だから、心ある
農業従事者は、農協に見切りをつけて新選組を組織したり、独自の販
売ルートを開発している者も大勢いる。安倍さんは、農協の票はいら

ない、と見切ったのではないか。

最近目立つのが、「民主党政権下では少しも進んでいない、もしくはいなかった」さらには「まったくことの重大さを理解していなかった」ことをあからさまにすることが多くなった気もする。それほど、野党のときにもどかしい思いをしていたのではないか。・・・それならワタシも同じです。

総理になってから、「たかじん・・・」に出演したが、現職の総理がなかばバラエティ番組に出演したのには驚いた。国会議員としては出演したこともあるし、現在も民主党のナントカやら西村眞悟さんらが出演しているが。安倍さんのあとに登場した飯島補佐官の話は仰天もので、民主党政権下では、「まるで村役場以下。官邸にはいることができる許可証が1300枚も発行され、中には前科のあるのまでいる、云々」 危機管理も何もあったものではない。今しきりに近隣諸国は日本を牽制しているが、民主党議員がこれを指摘しその危機管理はどうなっているのか？ には嗤ってしまった。おまえには言われたくない。

米国との毀れた関係の修復、モンゴルやマレーシア、インド、インドシナ半島諸国との会談。次にはロシアだろう。それぞれに理由がついているが、明らかに「うるさい国」の包囲網を形成している。朝貢外交ばかりしてきた歴代政権とは明らかに一線を画している。・・・これがなぜ、共産党や社会党の言う「戦争につながる」のだろう。あのいろいろあった大東亜戦争を一括して「侵略戦争」と決め付けてきた偏向思想の持ち主が考えそうな理屈ではある。じっくりと「偏った目」で見ないで、近代の歴史を勉強したら？

最近になって、改憲論議をするようになったが、心ある人には当然のこととしてうけとめられている。・・・いずれにせよ、ハトカンの頭脳が小さすぎて全体を見通すことができなかつたのである。・・・そういうのを選んだのも国民だけれど、選挙の得票数をみれば、いかに民主党政権に失望させられたかがわかる。今後数十年、民主党政権はおろか、民主党そのものの存続が危ぶまれている。

そういう意味では、ちょっとだけ日本国民に期待したい。民主党政権では、する気もなかったし、またその能力も無かった経済政策。少しでも良くなれば、国民は支持する。現に、安倍内閣の支持率が衰えないでしょう？

2013.03.25.